

教員名	三浦 謙 (MIURA Ken)
所 属	文教育学部人文科学科哲学講座
学 位	理学修士 (1984 東京工業大学)
職 名	助教授
URL / E-mail	

## ◆研究キーワード

科学哲学 / 認識論 / 知識の哲学 / 思想史 / 科学史

## ◆研究内容

平成 18 年度は、前年度より携わってきた、「魅力ある大学院教育」イニシャティヴに引き続いて注力した。こうした活動のため、本年度の自身の業績は、私自身もフランスで発表した、

**Astronomy in the Edo(Tokugawa) Period, A Way of Natural History**

(江戸時代の天文学、博物学的方法)のみである。この論文はイニシャティヴ報告書に掲載されているが、改稿の上レフェリーつき学会誌に投稿する予定である。

## ◆教育内容

学部、大学院での例年と同様の教育活動に加え、本年の特記事項としては、前年度より携わってきた、「魅力ある大学院教育」イニシャティヴに引き続いて注力した。フランスのブレーズ・パスカル大学との交流事業として、12月8日に本学で大学院生向けに2つのゼミが開講され、私も2人のフランス側教員とともに、英語のテキストによるヒュームの思想に関するゼミを担当した。

また翌日には、哲学・倫理・宗教思想の日仏共同ゼミナール・シンポジウムが行われ、準備・運営に協力した。

1月26日には、本学の大学院生3名を引率して、ブレーズ・パスカル大学でのシンポジウムに参加した。そのため、大学院生の発表原稿の作成・翻訳指導を行った。

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

---

来年度は、学会発表と論文発表に注力し、科学哲学で比較的取り上げられる機会の少ない実験・観察の意義に関する研究をまとめることと、と、すでに発表済みの日本の天文学史に関する論文を増補・投稿する予定である。

## ◆受験生等へのメッセージ

---

---

私の研究分野の科学哲学は、科学の成果を対象として、知識の構造を考え、認識のあり方を考える分野です。文系、理系の両方の内容を研究できるので、面白い分野であると思います。